

地域産業とツーリズムのタッチポイント

その2



ティーテラス市之瀬

お茶に全く触れたことのないマーケットに対して、屋外体験の場として、テラスを設置。テラス利用には、お茶とお茶菓子を含めることで、お茶とのタッチポイントを作った。

全くお茶に触れたことのない方にとってハードルが高い、急須でお茶を淹れるので無く、スタイリッシュに、またコーヒーを連想させる、ドリップ式を採用し、敷居を下げることで、「これなら自分もやってみよう」というきっかけ作りをしている。

夏は、フィルターインボトルを使い、「手軽に飲める」というイメージづくりも行っている。

ただし、それだけでは、茶葉の購入につながらないため、少量(20g入り)の商品を企画し、お土産需要と、自宅でも挑戦してみようという需要を開拓している。